

「第 11 回 愛媛県労働者定期観測調査」報告書 (2016 年 11 月調査)

2017 年 3 月 29 日

[はじめに]

一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会では、愛媛県内労働者の福祉を推進するための基礎資料を得ることを目的に、県内労働者を対象にした景況調査を実施しています。当報告書では、2016 年 11 月に実施しました「第 11 回調査」の結果を報告します。調査にご協力いただいた加盟団体・事業所、ご回答いただいた方々に厚くお礼申しあげます。

[調査概要]

- ① 調査名称：愛媛県労働者定期観測調査（愛媛県労働者短観）
- ② 調査対象：一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会に登録する 108 団体・事業所の労働者
- ③ 調査項目：労働者の景況感、仕事の現状、暮らし向き等
- ④ 調査実施期間：年 2 回 5 月・11 月、第 11 回調査 2016 年 11 月 1 日～11 月 30 日
- ⑤ 回答数：第 11 回調査登録者数：471 名、回答者数：318 名、有効回答数：316
- ⑥ 調査方法：質問票によるアンケート調査(郵送調査法)

[主な調査結果概要・総括]

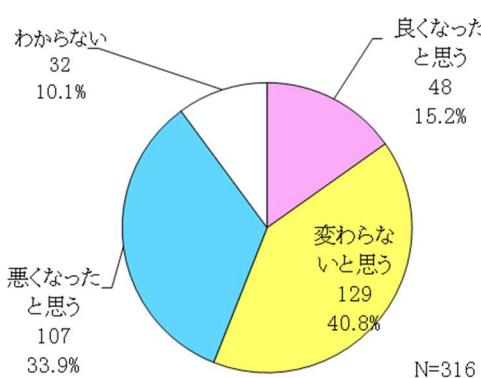
1. 業況 県内労働者からみた愛媛県内の業況 DI は下落。業種別では、製造業で改善傾向から反転し大きく下落。非製造業で下落幅が拡大。（問 1）
2. 労働時間 労働時間 DI は前回調査に続きやや上昇。（問 3）
3. 賃金 賃金収入 DI はほぼ横ばい。業種別では、製造業で同 DI の上昇が続いているが、反転し下落。非製造業は横ばいで推移。（問 4）
4. 暮らし向き 世帯の暮らし向き DI はほぼ横ばい。（問 9）
5. 生活の満足感 生活の満足 DI はわずかに上昇。居住地別では、南予地域の満足感が高かった。（問 10）
6. 総括 今回調査時（2016 年 11 月）の労働者からみた愛媛県内の業況は悪化。業況感の改善を牽引してきた製造業、非製造業ともに悪化した。景気の腰折れの可能性がある。労働時間は緩やかに増加傾向にあるものの、賃金収入は横ばいで推移している。

[調査結果]

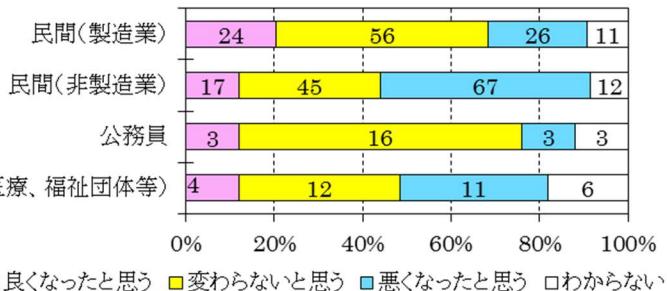
1. 勤め先の経営状況

第11回調査では、前回調査（2016年5月調査）と比較して「勤め先の経営状況」について「良くなったと思う」の割合がやや減少した。経営状況DIは下落（5.6ポイント下落），業種別でみると上昇傾向にあった製造業で反転し、大きく下落（11.1ポイント下落），また非製造業でも下落幅が拡大した（9.0ポイント下落）。

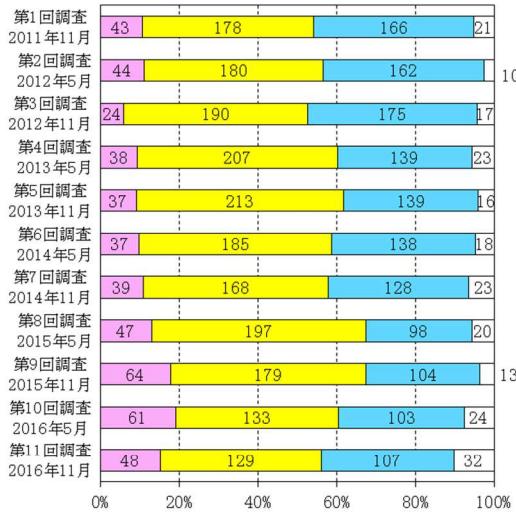
問1 勤め先の現在の経営状況
(1年前と比べて)



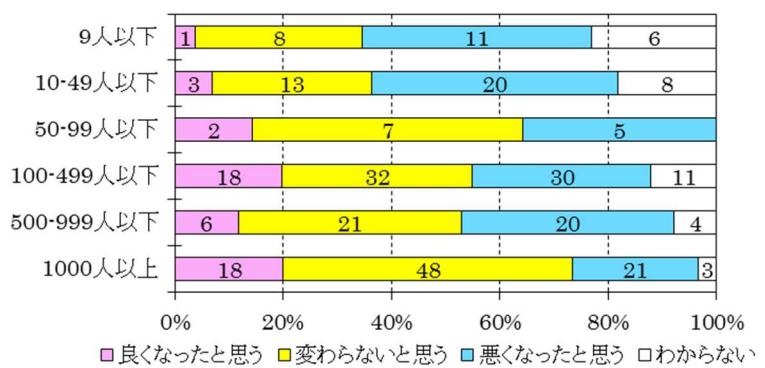
業種別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)



問1 勤め先の現在の経営状況(1年前と比べて)

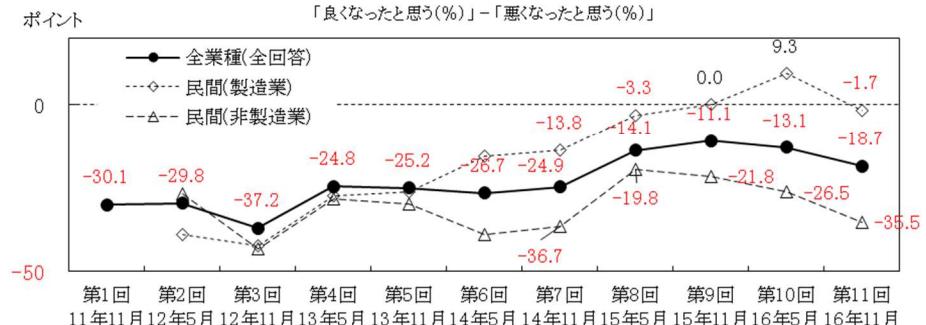


従業員数別にみた勤め先の経営状況(1年前と比べて)

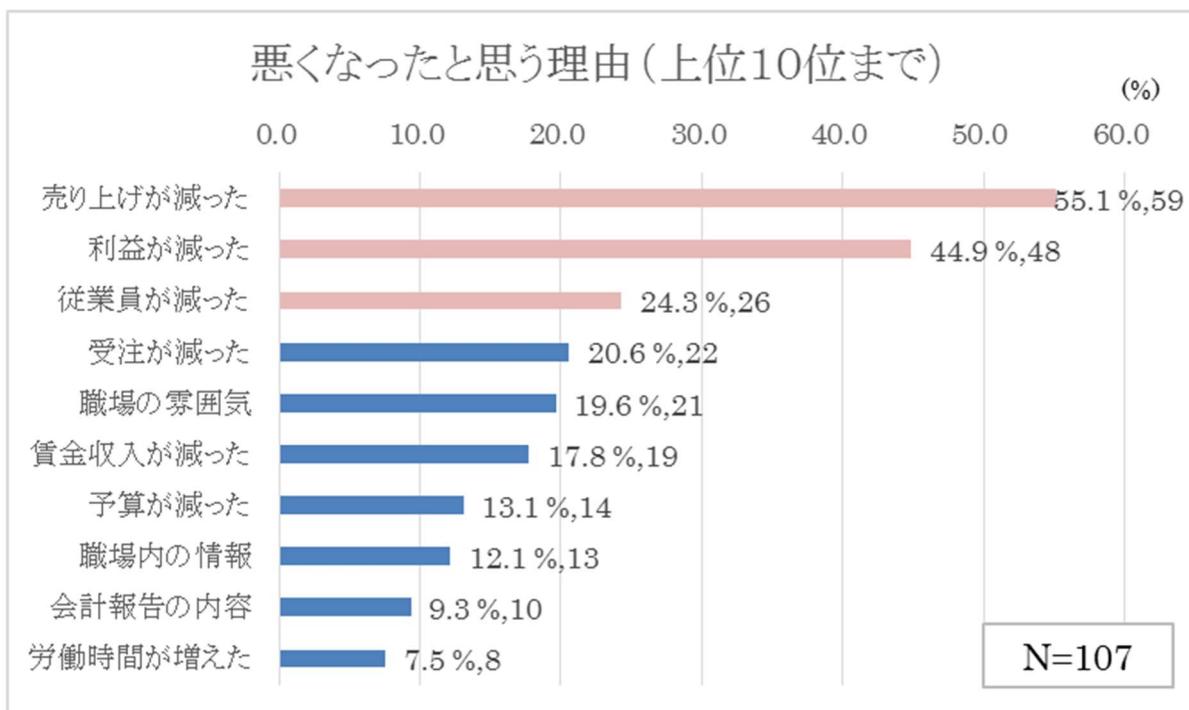
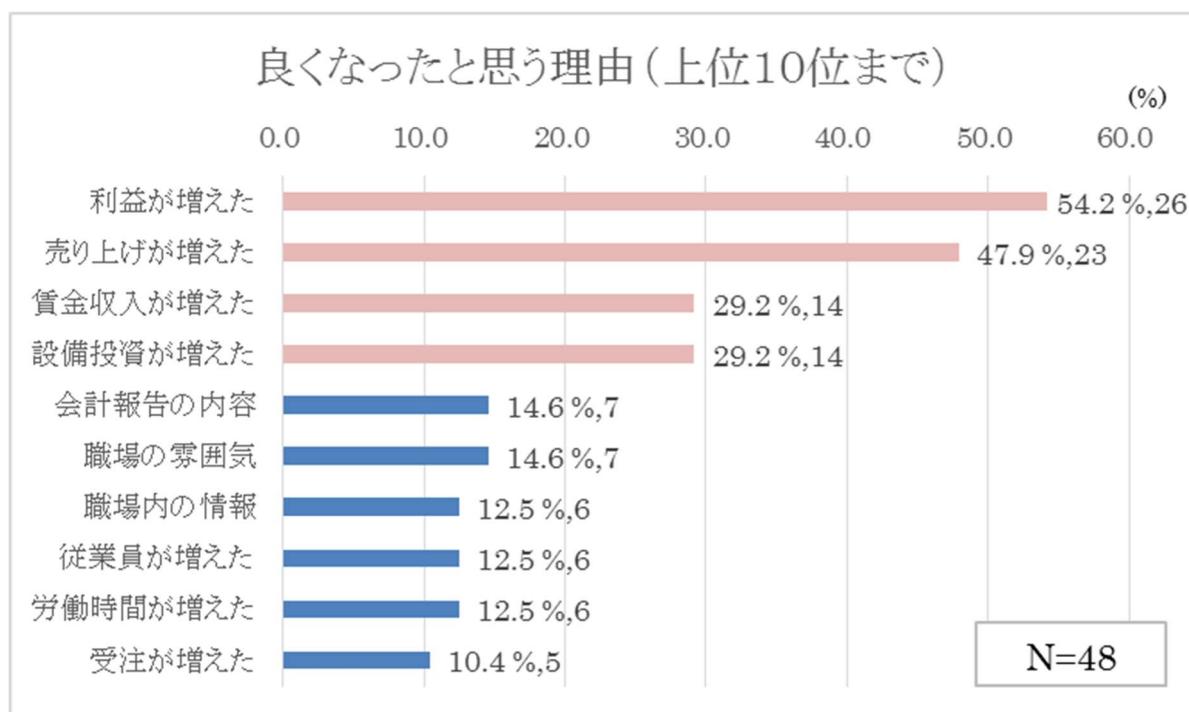


経営状況DI

「良くなったと思う(%)」-「悪くなったと思う(%)」



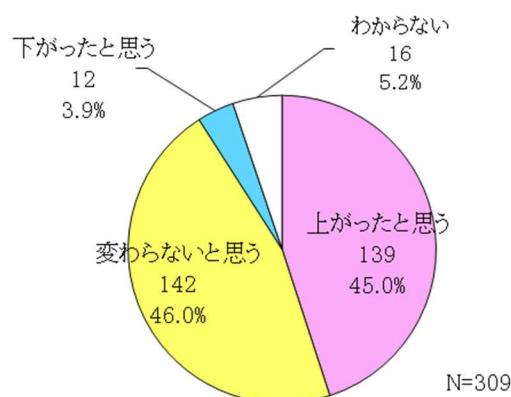
(注)全業種は、民間(製造業)、民間(非製造業)、公務員、その他(医療、福祉団体等)からなる。



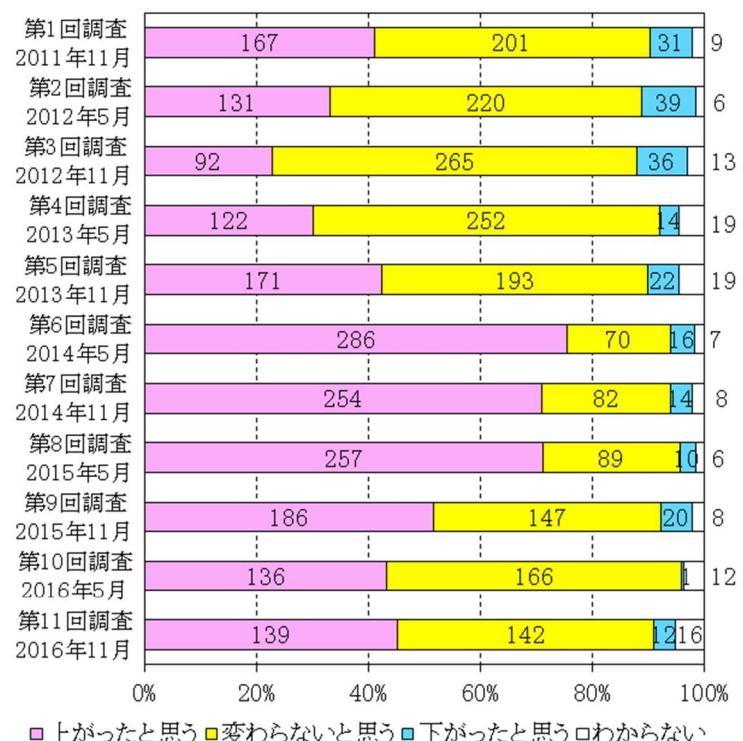
2. 身の回りの物価

1年前と比べた「身の回りの物価」については、前回調査（2016年5月調査）と比較して「下がったと思う」の割合が僅かに増加し、全体でみた身の回り物価DIはほぼ横ばい（1.8ポイント下落）。

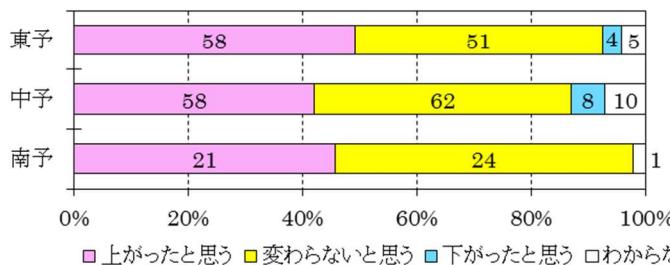
**問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格
(1年前と比べて)**



問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格(1年前と比べて)

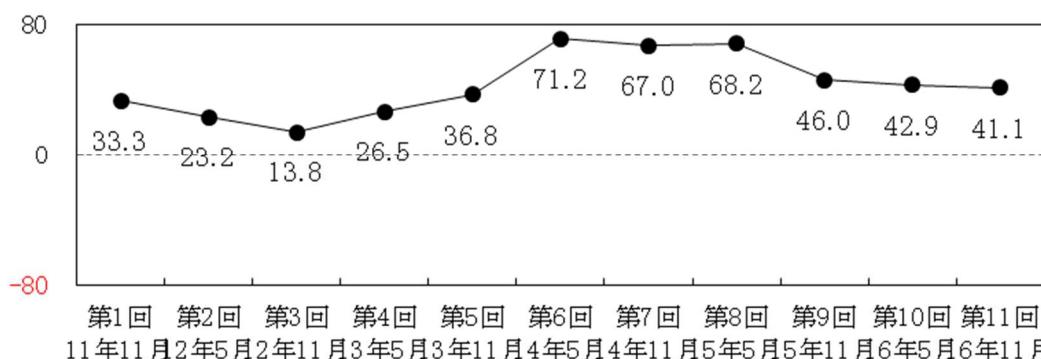


居住地別にみた物価の変化(1年前と比べて)



ポイント

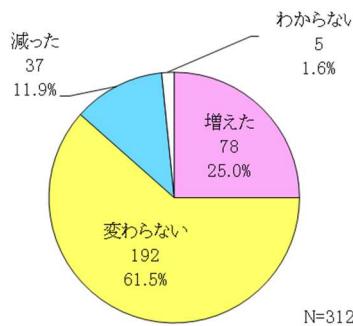
**身の回り物価DI
「上がったと思う(%)」-「下がったと思う(%)」**



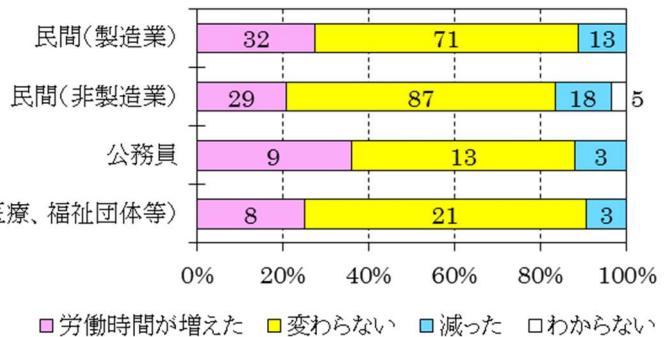
3. 実労働時間

最近の実労働時間については、前回調査（2016年5月調査）と比較して「増えた」とする割合が微増し、「減った」の割合が微減。年齢別でみると20代の若年層で労働時間の「増加」の割合が多かった。全体でみた労働時間DIは上昇（5.0ポイント上昇）。

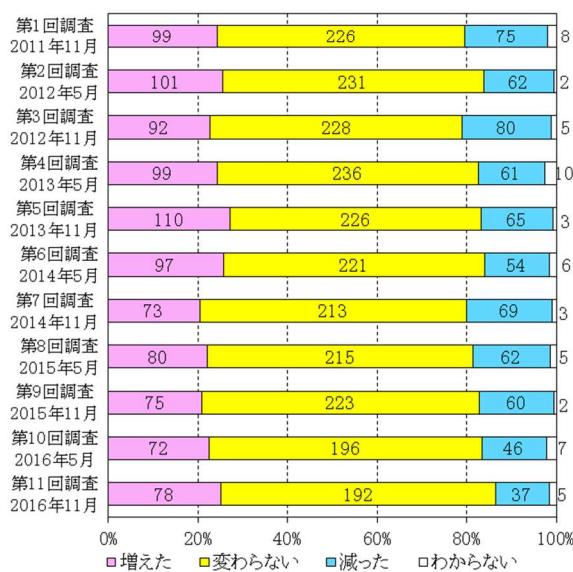
問3 最近の実労働時間(残業・休日出勤を含む)
(1年前と比べて)



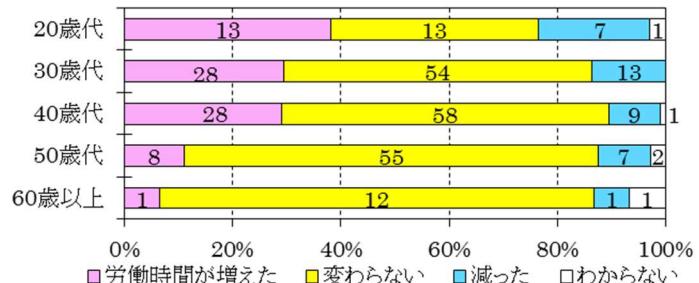
業種別にみた労働時間の変化(1年前と比べて)



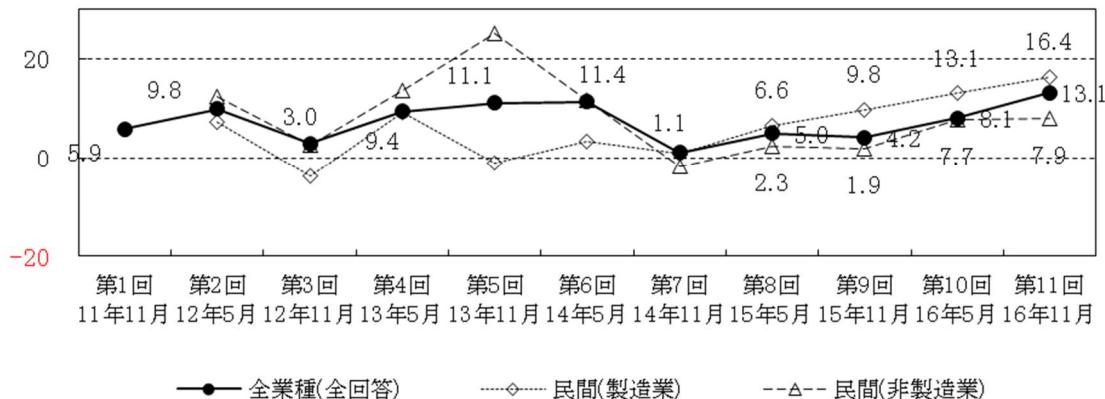
問3 最近の実労働時間
(全業種、残業・休日出勤を含む、1年前と比べて)



年齢別に見た労働時間の変化(1年前と比べて)



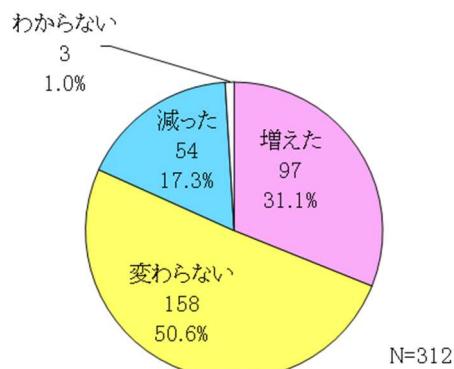
業種別労働時間DI
「増えた(%)」-「減った(%)」



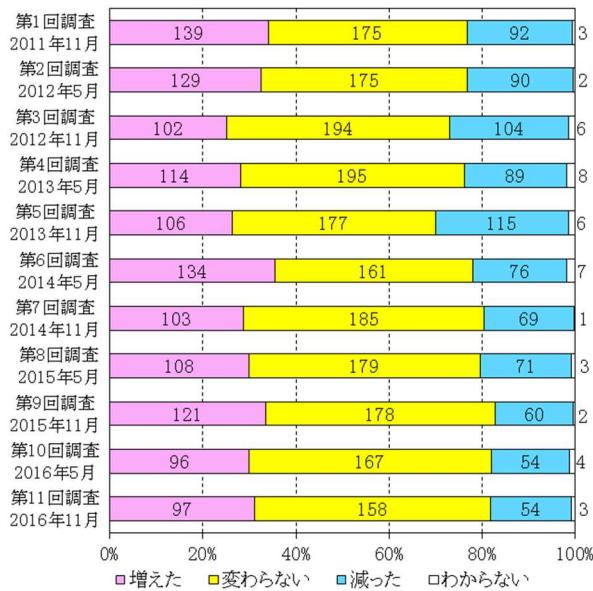
4. 賃金収入

最近の賃金収入は、前回調査（2016年5月調査）と比較して「増えた」「減った」ともに割合にほぼ変化はなかった。業種別では公務員で、地域別では南予で「増えた」とする割合が多かった。全体でみた賃金収入DIはほぼ横ばい（0.7ポイント下落）で、業種別では製造業のDIでの減少幅が大きかった（8.1ポイント下落）。

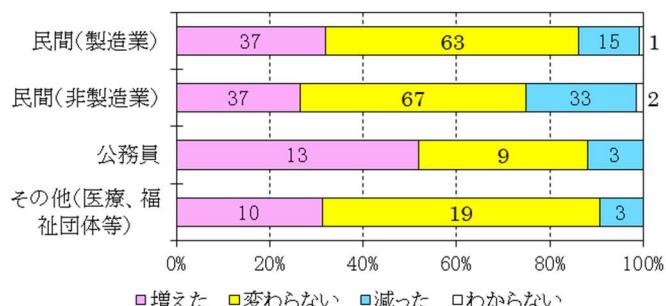
問4 あなたの賃金収入
(1年前と比べて)



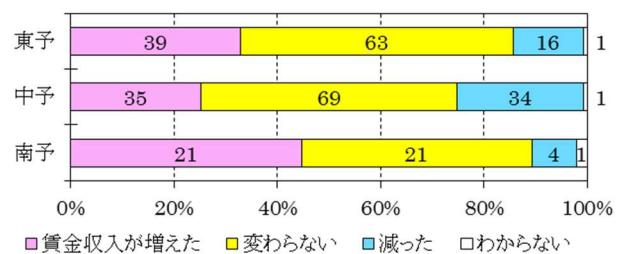
問4 あなたの賃金収入(1年前と比べて)



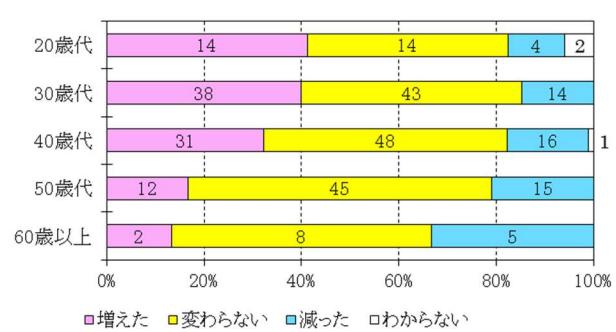
業種別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



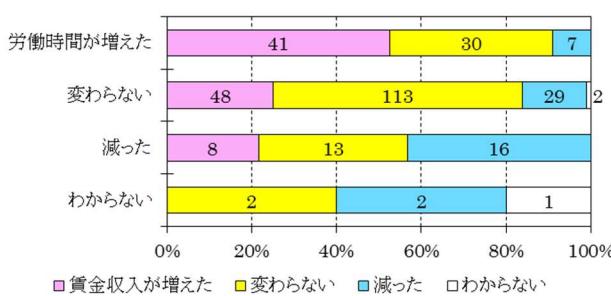
居住地別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



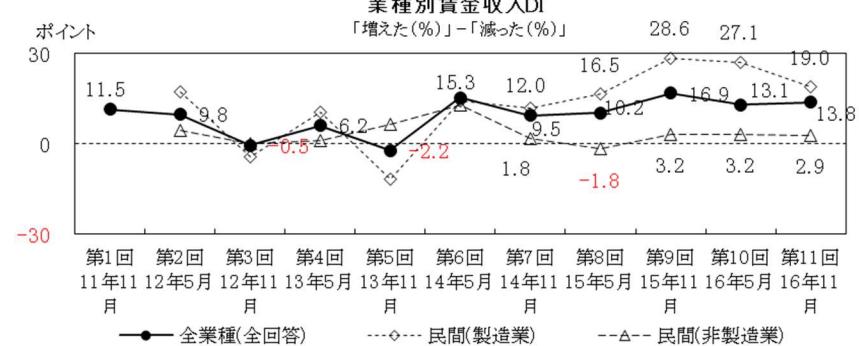
年齢別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



労働時間からみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



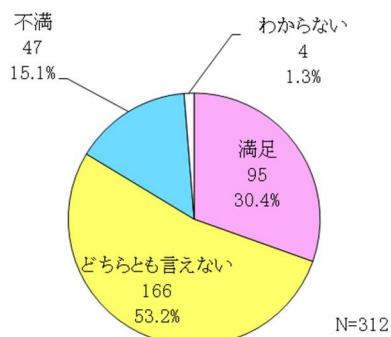
業種別賃金収入DI



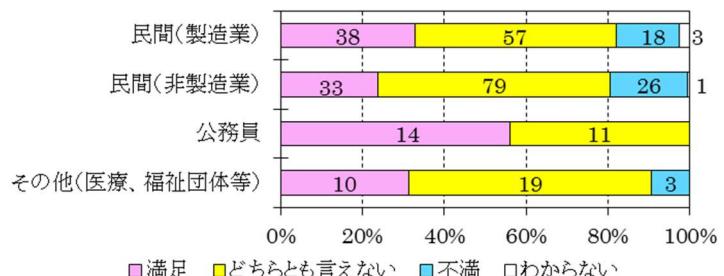
5. 勤め先の仕事の満足感

勤め先の仕事の満足感について、前回調査（2016年5月調査）と比較して、「満足」「不満」とともに割合にほぼ変化はなかった。業種別では、公務員で「満足」割合が多く、非製造業で「満足」の割合が少ない特徴がみられ、また「仕事の満足感」と「経営状況」「賃金収入の増減」に関連性がみられた。全体でみた仕事満足DIはほぼ横ばい（1.1ポイント下落）。

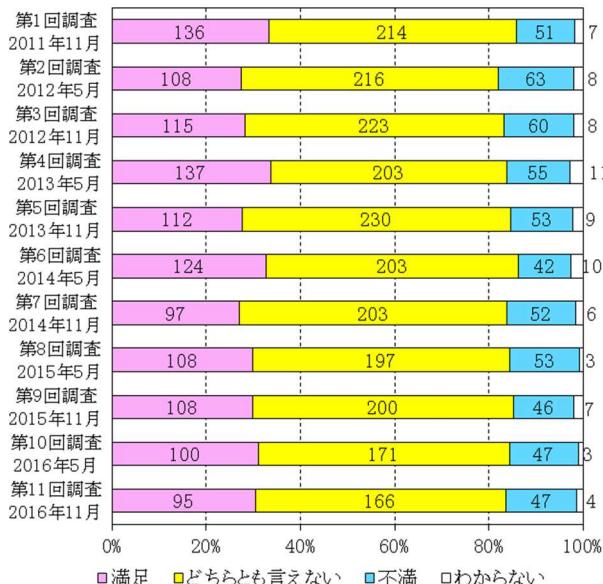
問5 仕事の満足感



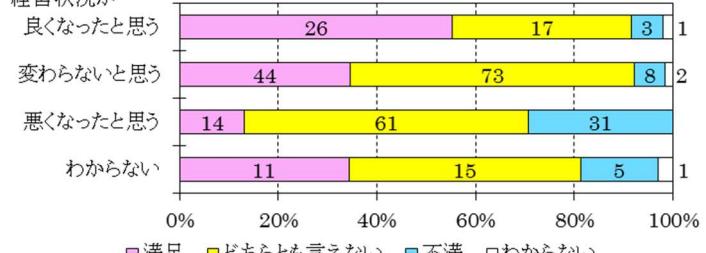
業種別にみた仕事満足度



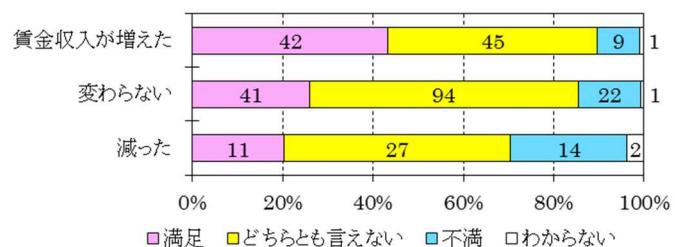
問5 仕事の満足感



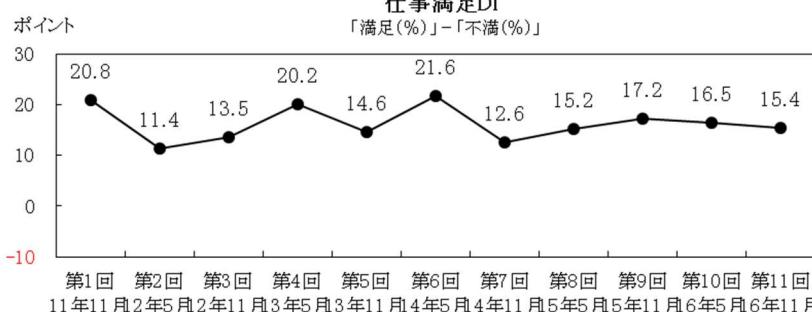
経営状況別にみた仕事の満足感



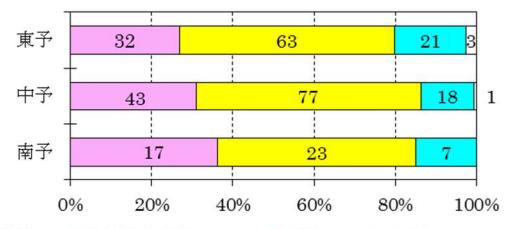
賃金収入の増減別にみた仕事の満足感



仕事満足DI
(満足%) - (不満%)



居住地別にみた仕事の満足感

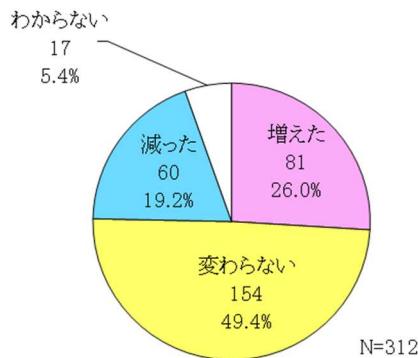


〈暮らし向きについて〉

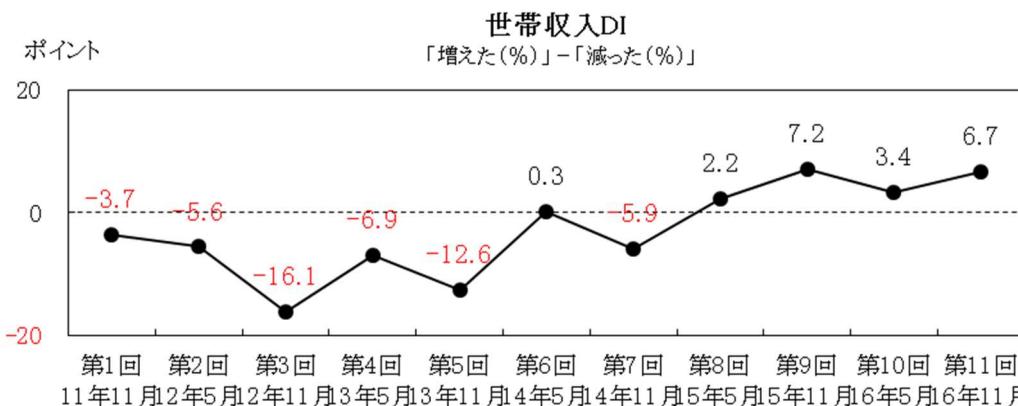
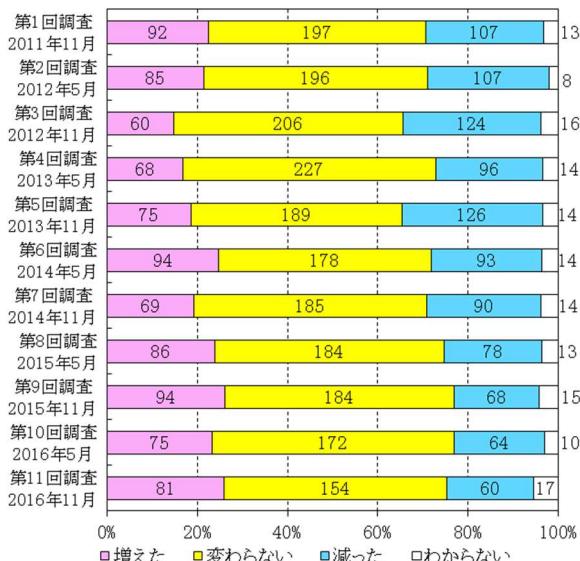
6. 世帯全体の収入

世帯全体の収入は、前回調査（2016年5月調査）と比較して「増えた」の割合が微増し、全体でみた世帯収入DIはわずかに増加した（3.3ポイント上昇）。

問6 世帯全体の収入(1年前と比べて)



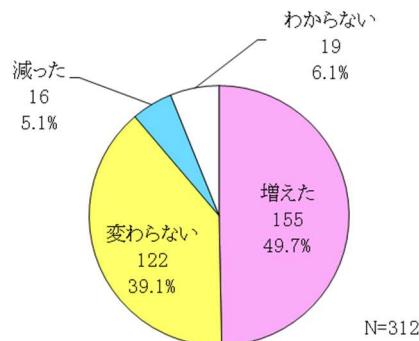
問6 世帯全体の収入(1年前と比べて)



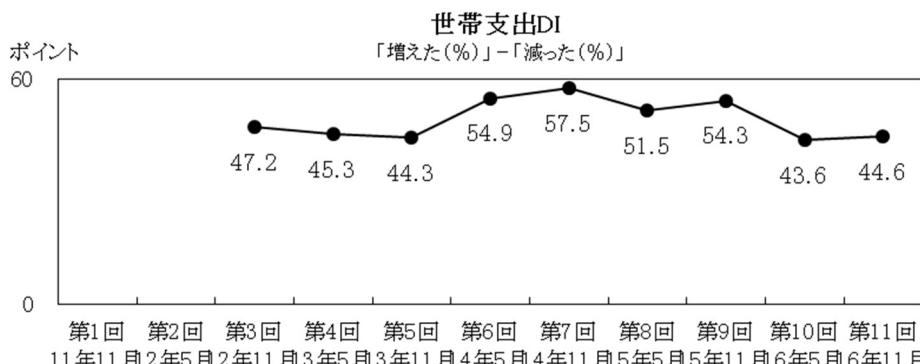
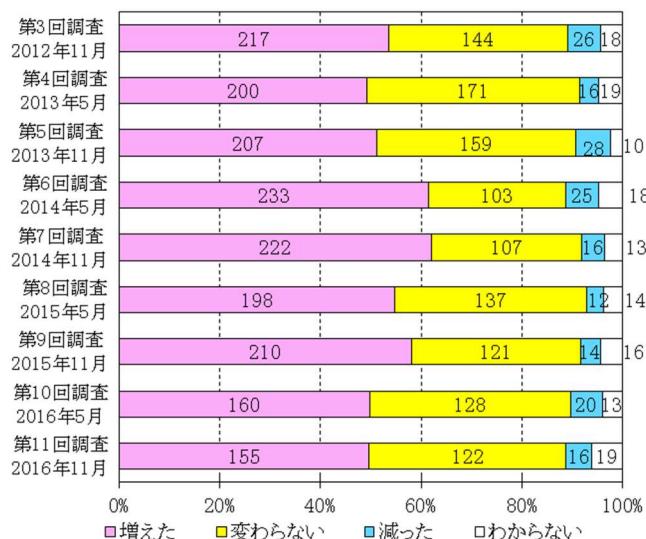
7. 世帯全体の支出

世帯全体の支出は、前回調査（2016年5月調査）と比較して「増えた」「減った」の割合はほぼ変わらず、全体でみた世帯支出DIはほぼ横ばい（0.9ポイント下落）。

問7 世帯全体の支出(1年前と比べて)



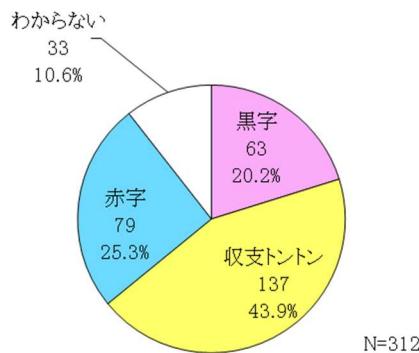
問7 世帯全体の支出(1年前と比べて)



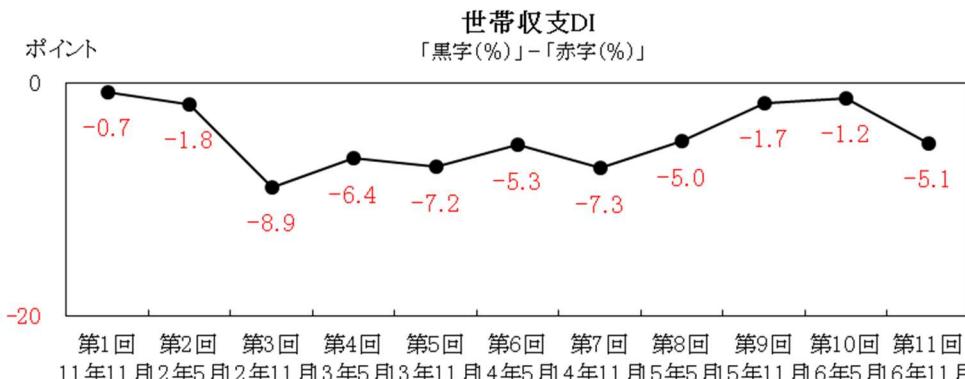
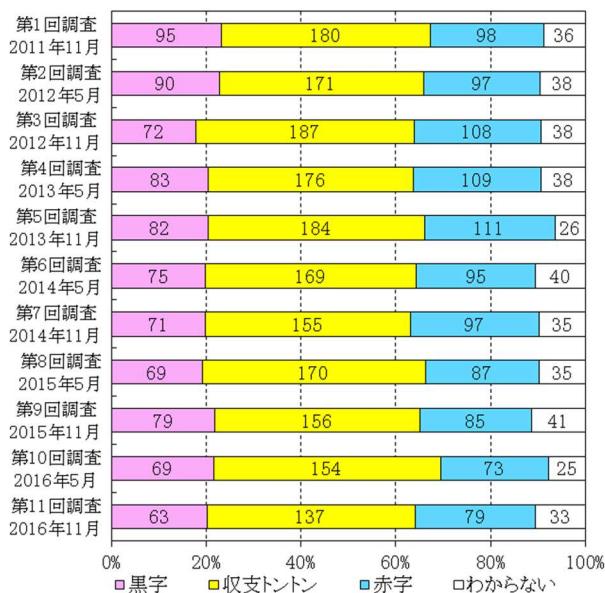
8. 世帯全体の収支

世帯全体の収支は、前回調査（2016年5月調査）と比較して「黒字」が微減、「赤字」が微増し、全体で見た世帯支出DIはやや下落した（3.9ポイント下落）。

問8 1年間の世帯全体の収支



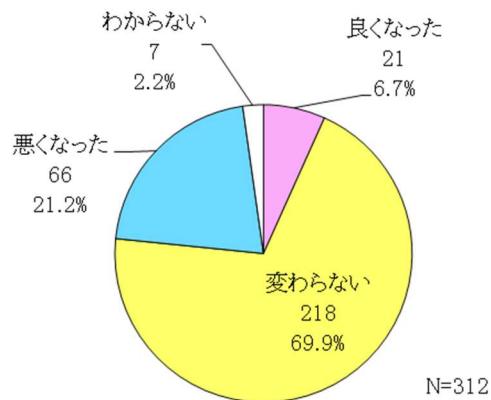
問8 1年間の世帯全体の収支



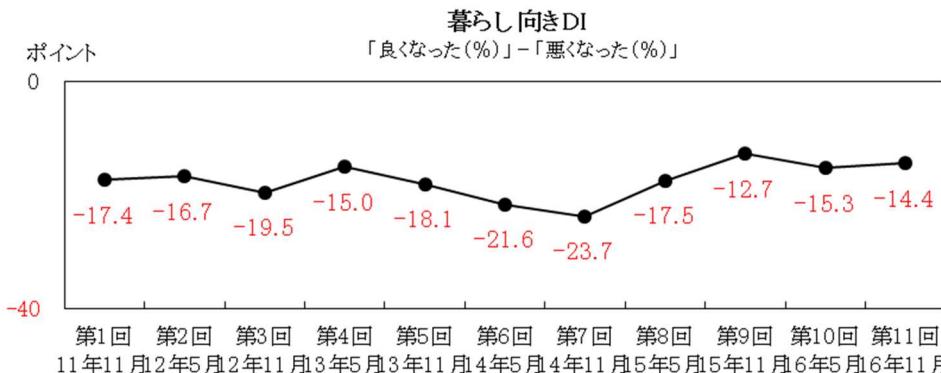
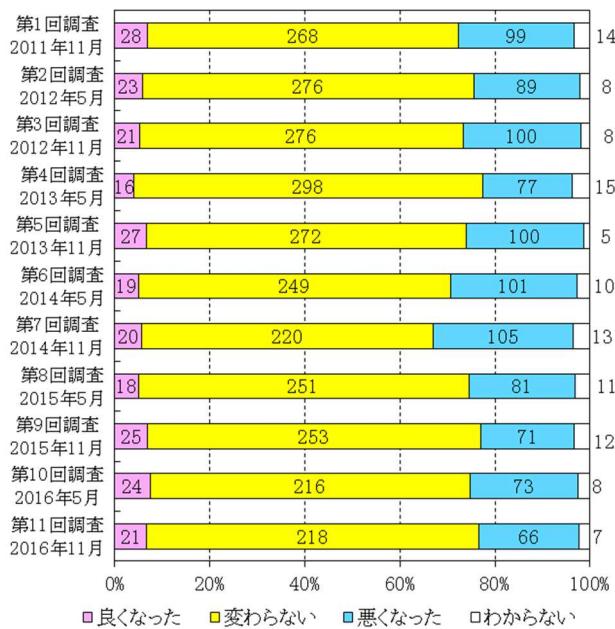
9. 世帯の暮らし向き

世帯の暮らし向きは、前回調査（2016年5月調査）と比較して「悪くなった」の割合が微減し、全体でみた世帯の暮らし向きDIはほぼ横ばい（0.8ポイント上昇）。

問9 世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



問9 世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



10. 生活の満足感

生活の満足感は、前回調査（2016年5月調査）と比較して「満足」の割合がやや増加し、「不満」の割合が微増した。全体でみた生活満足DIは僅かに上昇した（2.3ポイント上昇）。これまで同様に「賃金収入の増減」「世帯収支」「仕事の満足感」「世帯の暮らし向き」との関連性が見られる。

